

牡蠣をテーマとしたプロモーションの観光プロダクト開発実施業務委託仕様書

1 趣旨

観光客数の増加及び観光消費額単価の向上を図るため、広島県の多様な観光プロダクトの一つとして、生産量日本一の牡蠣をテーマとした観光プロダクトの開発及びプロモーションを実施する。近年、一部に牡蠣のへい死に関する話題もあることから、広島県産牡蠣の現状や魅力について県内外に向けた継続的な情報発信を行うとともに、滞在・宿泊につながる PR を展開するため、これらに係る業務を委託する。

2 業務の名称

牡蠣をテーマとしたプロモーションの観光プロダクト開発実施業務

3 業務の執行体制（適正な人員配置）の確保について

受託者は、この委託業務に必要な人員を配置し、責任者及び副責任者を明らかにすること。なお、県内の飲食店事業者等との打合せ（定期的な店舗訪問や意見聴取など）に速やかに対応できる現地調整スタッフの確保を必須とする。あわせて、牡蠣の特性や食の魅力に精通した専門家を配置し、牡蠣を効果的にプロデュースできる体制を確立すること。

4 業務の内容

広島の魅力をより多くの人に深く伝えるため、牡蠣に関するプロモーションの観光プロダクト作成及び情報発信等を実施すること。

（１） コンテンツ創出・PR

広島県は全国有数の牡蠣産地として高い知名度を有し、牡蠣は県を代表する食の観光資源である。近年、一部に牡蠣のへい死に関する話題もあったことから、広島県産牡蠣の現状や魅力について、県内外に向けて継続的な情報発信が求められている。このため、牡蠣を活用した新たな食のコンテンツの創出と、県外からの来訪者増加につながる PR を行うこと。

（２） 認知向上

観光客が県内産牡蠣をおいしく食べられる店舗を探索できる環境を整え、プロモーション等により話題を創出することで、当該店舗の認知向上を通じて、県外からの来訪者増加につなげること。なお、認知向上において、令和 7 年度に実施した「牡蠣が旨い店」に選定された次表に示す 15 店舗を活用してもよく、また、（１）及び（２）はまとめて実施してもよい。

牡蠣が旨い店（15 店舗）

店名	所在地
本家鳥好（ほんけとりよし）	広島県呉市中通 3-2-3
料理旅館 坪希 TSUBOKI	広島県江田島市沖美町畑 6-2
ドライブイン灘	広島県呉市安浦町三津口 6 丁目 9-8
Uluru（ウルル）	広島市中区堺町 1-1-8
炉 本通り 然然（ささ）	広島県広島市中区本通 6-14
かき小屋 龍明丸（りゅうめいまる）	広島県東広島市安芸津町風早 3245-33
かき船 かなわ	広島県広島市中区大手町 1 丁目地先
FARMER' s KITCHEN(ファーマーズキッチン)	広島県豊田郡大崎上島町東野垂水 37-2
牡蠣と肉の店 IPPO 薬研堀店	広島県広島市中区流川町 5-32 イワタビル B1F
いざかや しん	広島県広島市中区堀川町 5-12 寿広山崎ビル 2F
牡蠣屋（かきや）	広島県廿日市市宮島町 539
鉄板焼き・お好み焼き のつく 広島本店	広島県広島市南区宇品御幸 4-14-11
LUCIO（ルチオ）	広島県広島市中区西平塚町 8-5 第 20 マントクビル
瀬戸内料理 雑草庵 安芸	広島県広島市中区新天地 1-28 おぺらはうす 1F
焼処 うる	広島県広島市中区新天地 1-3 セントプレイス新天地 6F

（３） 春牡蠣プロモーション

春の広島県産牡蠣の喫食促進に向けた取組を実施すること。広島において牡蠣は冬のイメージが強く、年末年始を中心としたオンシーズンに偏る傾向があり、春季には販売機会が減少している。このため、「2027 ひろしま春の牡蠣まつり」を実施し、「春牡蠣」という言葉の定着を図るとともに、店舗にとって参画メリットが感じられる取組とし、春に牡蠣を提供する店舗の増加及び春の牡蠣の美味しさに関する認知向上に取り組むこと。また、春牡蠣提供店舗の新規開拓並びに既存店舗の再整理及び強化を行い、目標店舗数を 170 件以上とする。

（４） その他

- ・ 地域や民間企業（観光事業者や飲食事業者等）と連携を図り、企画を実現すること。
- ・ 企画を通じて広島の魅力を発信するための PR コンテンツを必要に応じて制作すること。
- ・ 様々なメディアからの問い合わせについて対応すること。
- ・ 本業務の実施にあたっては、過去に実施した類似のプロモーション事業等で作成された既存のコンテンツや素材についても、必要に応じて活用することを可能とする。
- ・ 詳細な内容については、広島県観光連盟（以下「連盟」という）と協議して決定すること。

（５） ウェブコンテンツの制作及び運用保守等

牡蠣を活用した新たな食コンテンツ・牡蠣が旨い店・春牡蠣プロモーションを掲載するウェブコンテンツを制作・運用し、県外に向けた効果的な情報発信を行うこと。

- ① ウェブコンテンツの制作・運用に必要となるサーバー等ハードウェア、ネットワーク及びデータベース等ソフトウェア等については、すべて業務受託者において準備すること。
- ② ウェブコンテンツを定期的に更新し、情報発信に努めること。
- ③ ウェブコンテンツの動作確認

本委託業務において制作したウェブコンテンツについて、スマートフォン及びPCの動作確認を行い、導入するコンテンツの範囲内で改善に努めること。また動作確認等に必要な機器については、受託者において準備し、テストが円滑に行えるよう環境を整備すること。具体的には、少なくともPCでは次に示す要件を満足すること。

利用者側パソコン利用環境	
項 目	要 件
端末性能	一般的な性能を有する端末により、支障なく利用できること。
OS、Web ブラウザ	一般的に利用されている主要な OS（Windows、macOS、Linux 等）および主要な Web ブラウザ（Google Chrome、Safari、Microsoft Edge、Firefox 等）において、支障なく利用できること。
インターネット接続環境	利用者端末のインターネット接続が、いわゆるナローバンド環境の場合でも、支障なく利用できるよう配慮されていること。

スマートフォンについては、少なくとも、NTT ドコモ、au、softbank の3社から直近2年以内に発売された機種のうち複数台（iPhone を含む）において動作確認を行うこと。

④ コンテンツの品質・性能要件

ア 標準適合性要件

当該コンテンツを構成する製品や技術は、国際標準もしくは業界標準に準拠していること。

イ 信頼性要件

（ア）基本的に障害発生によるサービス停止を極力避けること。

（イ）万一の障害発生時においても、短時間での運用再開を可能とし、障害発生前後のデータの整合性を保持できる構成とすること。

ウ 拡張性要件

将来的な利用増や急激なアクセス増加に対する機器増設、負荷分散等が可能なシステム構成上の拡張性と柔軟性を確保すること。また、今後のシステム拡張や機能変更、他システムとの連携が容易に行えるものであること。

エ 事業継続性要件

障害時やメンテナンス時を除き、24時間の連続運転を前提とし、安定的に稼動すること。また、原則、毎日データのバックアップ作業を行い、障害が発生した場合は最悪でも前日のバックアップ時点に復旧すること。なお、バックアップ形式など運用については、別途、連盟と調整すること。

オ 規模要件（目標）

アクセス数

月平均：約 5000 ページビュー

カ 性能要件

コンテンツ画面操作については、利用者にストレスを与えない応答時間（ネットワーク時間は含まない）を確保すること。

⑤ 保守要件

ア 対象物件

業務委託で制作したウェブコンテンツ

イ ソフトウェア・ハードウェア共通要件

- ・ ウェブコンテンツの保守を円滑に実施するため、電話、FAX、電子メール等による受付窓口を有した保守体制（サポート体制）を整備すること。
- ・ 保守体制、連絡体制（夜間、休日の連絡先を含む）及び担当者氏名について書面で提出すること。また、体制等に変更があった場合は、速やかに再提出すること。
- ・ 障害等が発生した場合は、利用者や連盟からの通報等に対して適切な対応を行うとともに、各ベンダーと連携し障害対応を行い、できるだけ速やかに復旧作業を開始すること。
- ・ 故障等による停止が長時間にわたる場合は、受託者において代替機等を確保し、運用すること。また、適切な監視・維持管理を行うこと。
- ・ ウェブコンテンツの制作・運用にあたっては、連盟との窓口となる担当ディレクターを指定し、連盟からの相談等に対応すること。

⑥ 情報セキュリティ対策

ア 基本要件

（ア）連盟プライバシーポリシーに基づくセキュリティ対策を行うこと。

（イ）情報セキュリティ上、問題を発生させるおそれのある機器及びソフトウェアを使用しないこと。

（ウ）既知のセキュリティホールやバグ等については、すべて対策を講じること。

（エ）セキュリティ上の脅威が検知された場合に、運用担当者に通知できる仕組みを構築すること。

イ ウイルス対策

必要に応じてコンピュータウイルス対策等、適切な不正プログラム対策を講じ、ウイルスからの防御、データの漏えい、不正侵入の防止、データ改ざんの防止等のセキュリティ対策を十分に施すこと。

ウ 不正アクセス対策

（ア）適切な不正アクセス対策を講じること。

（イ）URL に付随するパラメータ値については、容易に推測できないようにすること。

（6）その他必要な業務

- （1）～（5）に係る業務のほか、委託期間を通じて効果的な情報発信に努めること。

5 連盟との調整

(1) 各種企画提案書、計画書、進捗状況報告の提出

- ① 観光プロダクト開発業務に係るその月の進捗状況を毎月報告すること。
- ② 観光プロダクト開発業務の中で、計画書、進捗状況報告書の作成が必要なものについて連盟から依頼があれば速やかに対応すること。

(2) その他

観光プロダクト開発業務の実施に際し、連盟の要請に速やかに対応すること。

6 契約期間

契約締結日から令和9年3月31日まで

7 実績報告

実施にあたっては、目標を設定し本業務の効果検証を行い、事業終了日から10日以内までに実績を報告すること。

8 成果の帰属及び秘密保持

(1) 本業務により得られた成果（映像・画像の著作権含む）は、連盟に帰属する。

(2) 秘密保持

- ① 本業務に関し、受託者が連盟から受領又は閲覧した資料等は、連盟の了解無く公表又は使用してはならない。
- ② 受託者は、本業務で知り得た連盟及び事業者等の業務上の秘密を保持しなければならない。

9 再委託

受託者は、業務の一部を第三者に再委託することができる。その場合は、再委託先ごとの業務内容、再委託先の概要及びその体制と責任者を明記の上、事前に書面にて報告し、連盟の承諾を得なければならない。

10 その他

受託者は、本業務の実施にあたって、不明瞭な点や改善の必要性があると認められる場合は、連盟と協議すること。